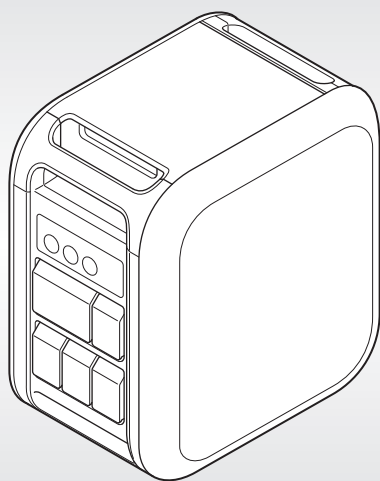


HONDA

Honda Power Pod e: E1500 取扱説明書



ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

Honda Power Pod e:をお買いあげいただき誠にありがとうございます。

お買いあげいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などがございましたら、**販売元**にお気軽にお申しつけください。

取扱説明書について

この取扱説明書は

- 本製品をご使用の際は、必ず携帯してください。
 - Honda Power Pod e:を貸与または譲渡される場合は、本製品と一緒にお渡しください。
 - 紛失や損傷したときは、販売元にご注文ください。
-

はじめに

この取扱説明書は、お買いあげいただいた Honda Power Pod e: (E1500) を安全かつ能率的に使用する手助けとして編集されたものです。

取扱説明書の中には、本製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明してあります。

本製品をお使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の操作に習熟してください。

本製品は専用バッテリーと組み合わせて使用します。

本製品には専用バッテリーは同梱されていません。

専用バッテリーと組み合わせて使用する場合は、専用バッテリーの取扱説明書をよくお読みください。

専用のバッテリーは「Honda Mobile Power Pack e:」です。

「Honda Mobile Power Pack」は使用できません。

本文内では「Honda Mobile Power Pack e:」をモバイルパワーパックと表記しています。

本製品は、モバイルパワーパックを起動させるための起動用バッテリーを搭載しています。

モバイルパワーパックと起動用バッテリーはリチウムイオンバッテリーです。

安全に関する表示について

本書では、使用者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記の表示を使って記載し、その危険性を説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

取扱いのポイント

指示に従わないと、本製品やその他のものが損傷する可能性があるもの

この取扱説明書は、仕様変更などによりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。

目次

安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう	4
安全ラベル	6
各部の名称と取扱いをおぼえましょう	7
主電源ボタン / 主電源灯	10
AC 出力ボタン / AC 出力灯	10
USB 出力ボタン / USB 出力灯	10
交流コンセント	10
USB 出力端子	10
モバイルパワーパック 残量灯	11
残給電時間灯 / 輝度表示	11
温度警告 / 本機異常灯	12
本機故障灯	12
モバイルパワーパック異常灯	12
モバイルパワーパック故障灯	12
過負荷灯	12
アシスト運転灯	13
Bluetooth® 接続灯	13
充電灯	13
モバイルパワーパック温度警告灯	13
アース端子	13
周波数切換スイッチ	14
起動用バッテリー充電ポート	14
起動用バッテリー残量灯	14
並列運転端子	14
AC 充電用入力端子	15
ソーラーパネル充電用入力端子	15
キャリアハンドル / アンダーグリップ	15
リッド	15
ロックレバー	15
AC 充電コード収納ケース	15
Bluetooth® 機能	16
モバイルパワーパックの着脱のしかた	18
お使いいただく際は	21
モバイルパワーパック残量の確認のしかた	22
操作表示パネル調光のしかた	24

モバイルパワーパックの充電のしかた	25
充電をする前に	25
〈充電状態の確認方法〉	26
モバイルパワーパックを充電する	27
〈AC 充電する（家庭用 100 V コンセント）〉	27
〈ソーラーパネルで充電する〉	29
起動用バッテリーの充電のしかた	33
電気の取出しかた	36
電気を取出す前に	36
交流コンセントを使う	37
USB 出力端子を使う	39
並列運転する	40
〈並列運転接続キットを使用する〉	41
〈並列運転コードを使用する〉	43
アシスト運転する	45
停止のしかた	48
Bluetooth® 機能対応スマートフォンによる電源の停止	49
運搬のしかた	50
手で持ち運ぶ	50
車で運ぶ	51
船舶や航空機で運ぶ	51
お手入れと保管のしかた	52
お手入れのしかた	52
保管のしかた	53
故障かな？と思ったら	54
廃棄のしかた	57
起動用バッテリーをリサイクルする際の作業内容	58
主要諸元	60
交流コンセントの出力範囲と使用時間の目安	61
交流コンセントの出力範囲	61
使用時間の目安	63
参考情報	64
商標	64

警告

あなたと他の人の安全を守るために次の指示に従ってください。

- この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法を十分にご理解の上、操作してください。
- 本製品（および AC 充電コード）の使用時には電磁波が発生します。植え込み型心臓ペースメーカー等使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してから使用してください。
- 本製品の改造はしないでください。また、製品の廃棄時以外は分解しないでください。
発熱や発火、感電の原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。また、変形破損した場合は使用しないでください。
火災やヤケド、感電やケガの原因になります。
- AC 充電コードを破損するようなことはしないでください。
傷んだまま使用すると、発火や感電の原因になります。
- 湯気、ほこり、油煙、腐食性ガスなどが多い場所では使用しないでください。
発熱、発煙、感電の原因になります。
- 火の中へ入れたり、加熱をしないでください。また、火のそばや炎天下、ストーブの近く、高温になった車内など、高温の場所で使用しないでください。
発熱や破裂、発火の原因になります。
- 濡れた手で本製品やモバイルパワーパック、AC 充電コード、ソーラーパネル充電コードを取扱わないでください。
感電するおそれがあります。
- 雨や水、海水などの液体でぬらさないでください。また、液体のかかる場所で使用しないでください。
発熱や発火、感電の原因になります。
- 交流出力は電力会社からの電気配線や屋内配線には絶対に接続しないでください。
感電や火災の原因になります。
- モバイルパワーパックを充電の際は、必ず付属の AC 充電コードまたはソーラーパネル充電コードを使用してください。
発熱や発火の原因になります。
- モバイルパワーパックは家庭用 AC100V 電源またはソーラーパネルで充電してください。また AC100V 電源で充電する際は必ず国内で充電してください。
海外などで異なる電源電圧で使用する、火災や故障の原因となります。
- 充電中に異臭、発熱、変色、変形がおきたときは、AC 充電コードのプラグをコンセントから抜いてください。
ソーラーパネル充電中の場合は、ソーラーパネル充電コードを本製品から抜いてください。
電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。

警告

- **本製品に電気機器の電源プラグを接続する際は、プラグを根元まで確実に差込んでください。**
差込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
- **ご使用の際は電源プラグとコンセントの間にほこりがたまっていないことを確認してください。**
発熱、発火による火災発生の原因になります。
- **並列運転端子には専用コード以外は接続しないでください。**
感電するおそれがあります。
- **充電用入力端子、交流コンセント、USB 出力端子、並列運転端子をショートさせないでください。**
感電やケガの原因になります。
- **電気の取出し中に異臭、発熱、変色、変形がおきたときは、お使いの電気機器の電源プラグまたはUSB プラグを本製品から抜いてください。**
電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。
- **保管中に異臭、発熱、変色、変形がおきたときは、使用しないでください。**
電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。
- **万一、リチウムイオンバッテリーの液漏れが起きた場合すぐに火気から遠ざけてください。**
漏れた液や気体に引火して発火のおそれがあります。液が目に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- **お子様の手の届かないところで使用・保管してください。**
感電やケガの原因になります。
- **雨や水、海水など水分のあたるところ、また湿気やほこりの多いところや、高温となるところには保管しないでください。**
絶縁性能が低下し、発熱・発火の原因となります。また、高温下での保管は電池の寿命を縮める場合があります。

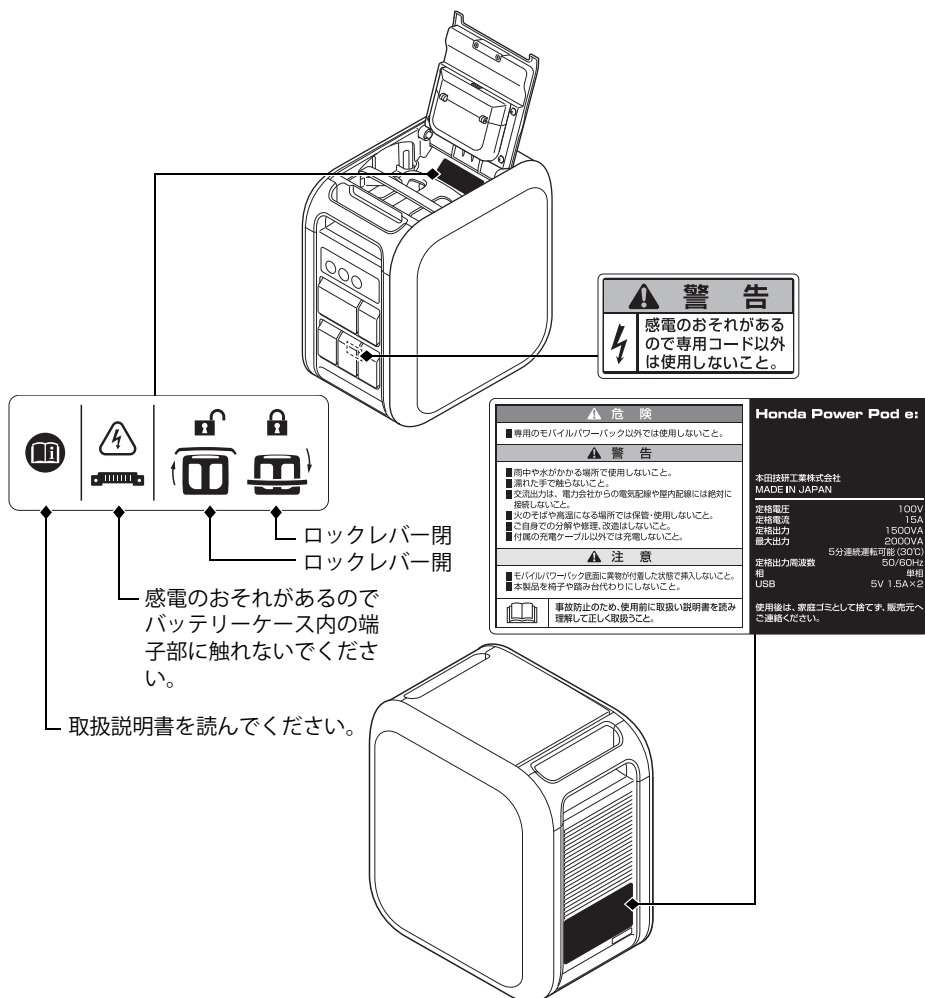
■ 安全ラベル

Honda Power Pod e:を安全に使用していただくため、本製品には安全ラベルが貼つてあります。

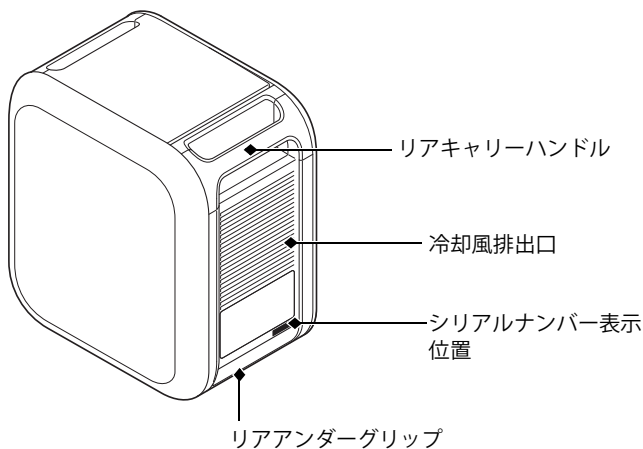
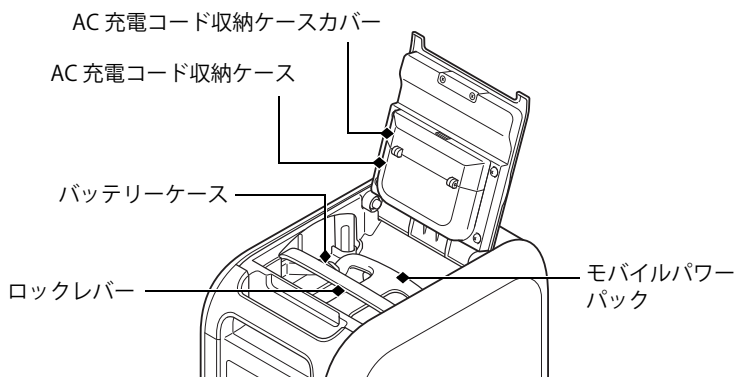
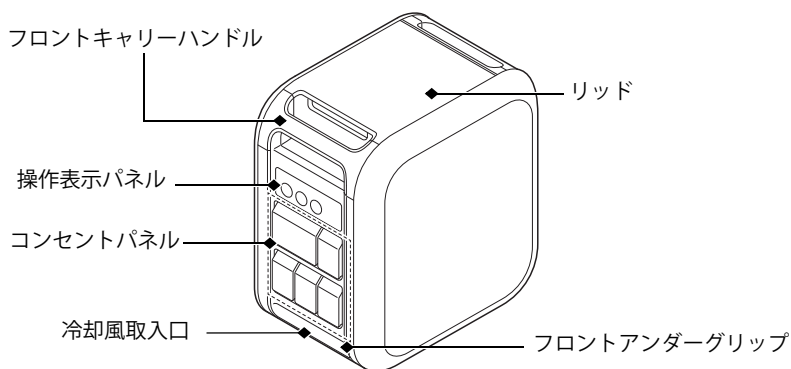
安全ラベルをすべてお読みになってからご使用ください。

ラベルは、はっきりと見えるように、きれいにしておいてください。

本製品に貼ってあるラベルの破れ、紛失または汚れなどでラベルが読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。また安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しいものに貼り替えてください。ラベルの貼り替えについては、販売元へお問い合わせください。



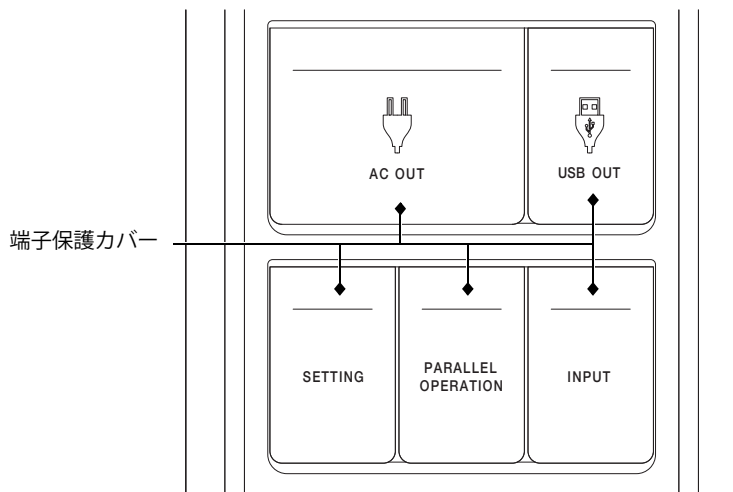
各部の名称と取扱いをおぼえましょう



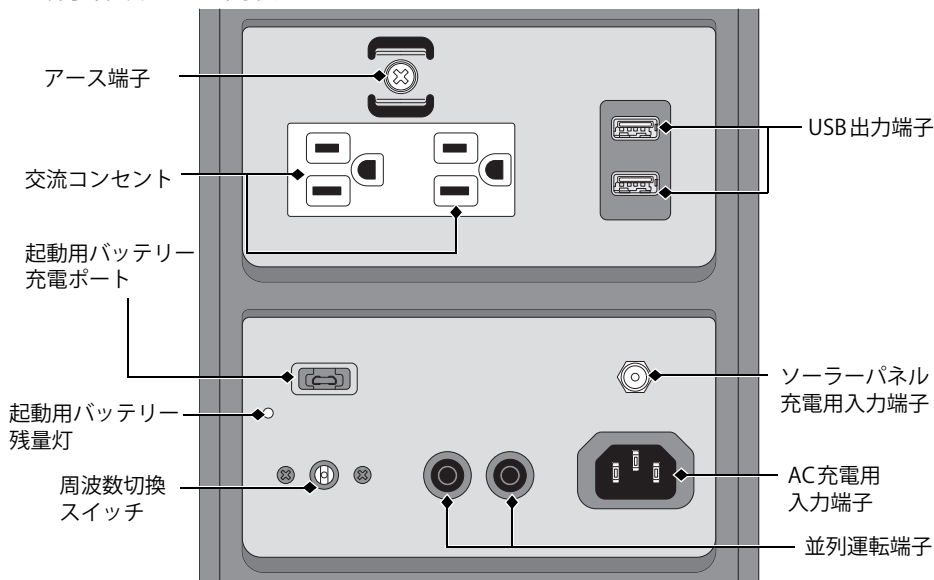
各部の名称と取扱いをおぼえましょう

コンセントパネル

端子保護カバー閉状態



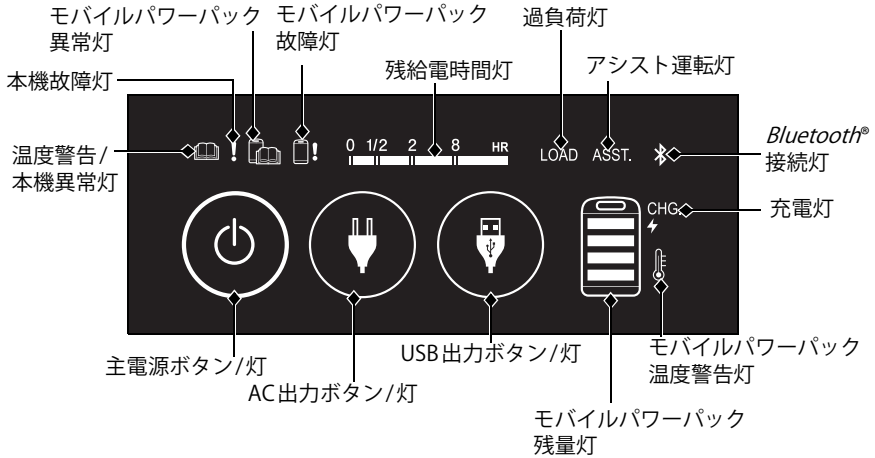
端子保護カバー開状態



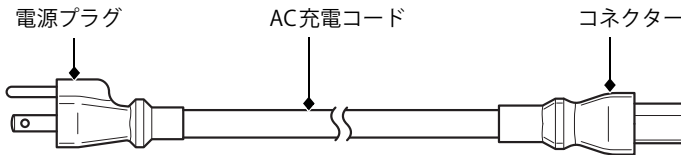
取扱いのポイント

- 端子保護カバーを開けて、機器の接続などをするときは、片方の手で落ちないように保持してください。
- 使用後は、端子保護カバーを閉じてください。

操作表示パネル



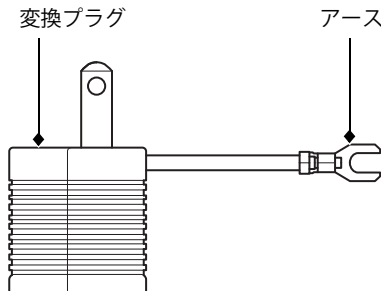
AC 充電コード



AC 充電コードは Honda Power Pod e: 専用のため、Honda Power Pod e: 以外の電気機器には使用できません。
使用時以外は AC 充電コード収納ケースに収納してください。

2 ピン変換プラグ

2ピンコンセントを使用する場合は同梱の2ピン変換プラグを使用してください。

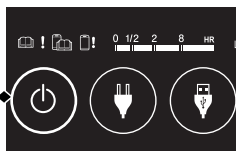


■主電源ボタン/主電源灯

本製品をON、OFFするときに押します。主電源をONにすると点灯、OFFにすると消灯します。

主電源をONから一定時間操作の入力が無いと自動的にOFFになります。

主電源ボタン/
主電源灯



■AC 出力ボタン / AC 出力灯

交流コンセントを使用するときに押します。主電源をONにし、AC出力ボタンを押すと交流コンセントが使用できます。

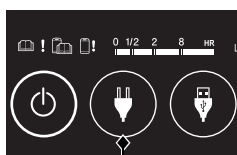
AC出力がONになると点灯し、OFFになると消灯します。

AC出力ボタンを2秒長押しするとアシスト運転を開始します。

アシスト運転を開始すると点滅し、OFFになると消灯します。

→アシスト運転 (P.45)

AC出力ボタン/
AC出力灯

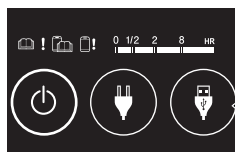


■USB 出力ボタン /USB 出力灯

USB出力端子を使用するときに押します。主電源をONにし、USB出力ボタンを押すとUSB出力端子が使用できます。

USB出力がONになると点灯し、OFFになると消灯します。

USB出力ボタン
/USB出力灯

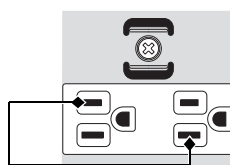


■ 交流コンセント

交流コンセントが2口装備されています。コンセントへプラグを差込む際は、接触不良、抜けのないように確実に行ってください。

電気の取出しは、コンセントの出力範囲内で使用してください。

→ 交流コンセントの出力範囲 (P.61)



100V 交流コンセント

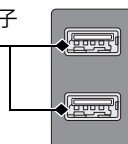
- ・ 差込口 2 個の合計容量：
定格15A [1500W(VA)]

■USB 出力端子

DC5V-1.5A のUSB 出力端子 (タイプA) が2つ装備されています。

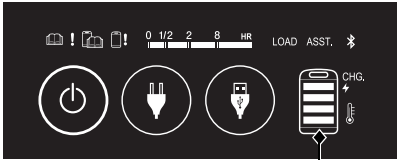
→ USB出力端子を使う (P.39)

USB出力端子
(タイプA)



■ モバイルパワーバック 残量灯

モバイルパワーバックの残量を表示します。



モバイルパワーバック残量灯

表示	残量の目安
	多い
	80% 以上
	80% 未満 60% 以上
	60% 未満 40% 以上
	40% 未満 20% 以上
	少ない
	残りわずか (1灯点滅)
	20% 未満 0% 以上

モバイルパワーバック残量灯が1つだけ点滅している場合は、予期せぬ出力停止にそなえて、出力を停止し、モバイルパワーバックを充電してください。
→ モバイルパワーバックの充電のしかた (P. 25)

◇モバイルパワーバック残量灯の表示は目安となります。
お使いのモバイルパワーバックの劣化や使用温度によって変化します。

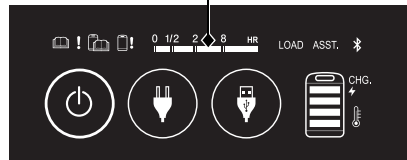
■ 残給電時間灯／輝度表示

モバイルパワーバック残量と給電力から計算された、残給電時間を表示します。

また操作表示パネル調光時には、輝度表示としても機能します。

→ 操作表示パネル調光のしかた (P. 24)

残給電時間灯/輝度表示



表示	残給電時間の目安
	長い
	8時間以上
	8時間未満 2時間以上
	2時間未満 30分以上
	短い
	残りわずか (1灯点滅)
	30分未満 10分未満

残給電時間灯が1つだけ点滅している場合は、予期せぬ出力停止にそなえて、出力を停止し、モバイルパワーバックを充電してください。

◇残給電時間の表示は目安となります。
お使いのモバイルパワーバックの劣化や使用温度によって変化します。

■ 温度警告 /

本機異常灯

本製品の異常を検出した場合に点灯します。点灯時は出力と充電が停止します。

最大出力で使用し続けたときおよび、周囲温度 -15℃～40℃の範囲外で使用したときにも点灯し、出力が停止することがあります。

→ 故障かな？と思ったら (P.56)



温度警告/本機異常灯

■ 本機故障灯

本製品の故障を検出したときに点灯します。点灯時は出力と充電が停止します。

→ 故障かな？と思ったら (P.56)



本機故障灯

■ モバイルパワーパック

異常灯

モバイルパワーパック異常を検出したときに点灯します。点灯時は出力と充電が停止します。

→ 故障かな？と思ったら (P.56)



モバイルパワーパック異常灯

■ モバイルパワーパック

故障灯

モバイルパワーパック故障を検出したときに点灯します。点灯時は出力と充電が停止します。

→ 故障かな？と思ったら (P.56)



モバイルパワーパック故障灯

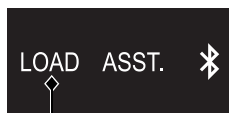
■ 過負荷灯

交流コンセントの過負荷状態を検出したときおよび、過負荷状態が5秒間継続しAC出力が停止したときに点灯します。

また接続する電気機器と本製品の周波数設定が異なるときおよび、使用中の電気機器が異常を起こしたときにも点灯します。

点灯中は出力が停止します。

→ 故障かな？と思ったら (P.56)



過負荷灯

◇過負荷とは

本製品の最大出力を超える電気機器をご使用になることです。

大きな起電力を必要とする電気機器（モーターを使用した機器など）を使用すると、開始時に過負荷灯が点灯（最長で約5秒間）することがありますが、一時的であれば故障ではありません。

■ アシスト運転灯 ASST.

アシスト運転中に点灯します。
→ アシスト運転する (P. 45)



■ Bluetooth® 接続灯

Bluetooth® を通じて本製品とスマートフォン等の端末を接続すると点灯します。

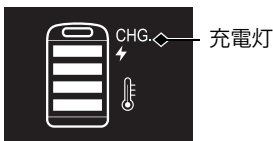
→ Bluetooth® 機能 (P. 16)



■ 充電灯 CHG.

モバイルパワーパック充電中に点灯し、充電が完了すると消灯します。ソーラーパネル充電中は何らかの原因によって充電が停止すると点滅します。

→ 故障かな？と思ったら (P. 55)



■ モバイルパワーパック 温度警告灯

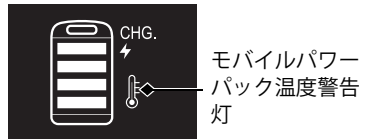
モバイルパワーパックの温度警告を検出したときに点滅し、温度異常を検出したときに点灯します。点灯状態では充電または出力を停止します。

点滅した場合は、接続している電気機器の負荷を小さくするか、周囲温度の低い場所で使用してください。

→ 充電をする前に (P. 25)

→ 電気を取り出す前に (P. 36)

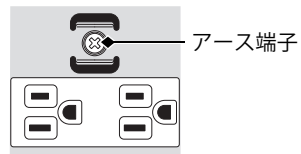
→ 故障かな？と思ったら (P. 55)



状態	表示	充電状態	出力状態
温度警告	点滅	充電継続	出力継続
温度異常	点灯	充電停止	出力停止

■ アース端子

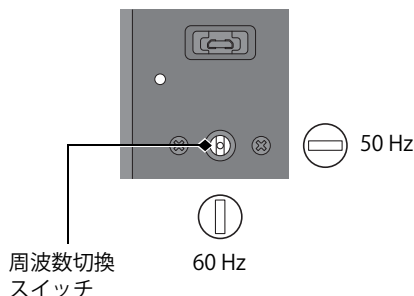
本製品をアースする端子です。本製品に接続する電気機器を大地にアースしたときは、本製品も必ずアースしてください。



◇アースの取り扱いについて
アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。アースに関するご不明点は、販売元にご相談ください。

■ 周波数切換スイッチ

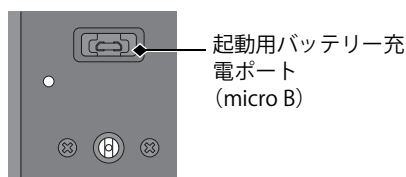
周波数の切換え（50 Hz ⇄ 60 Hz）を行うスイッチです。
接続する電気機器やご使用する地域に合わせ周波数を切換えてください。



■ 起動用バッテリー充電ポート

起動用バッテリーを充電するために、外部電源を接続するUSB入力端子（micro B）です。

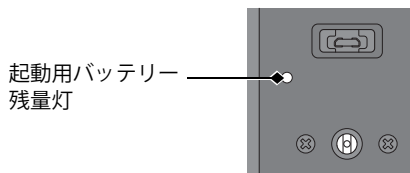
→ 起動用バッテリーの充電方法（P. 33）



◇ 起動用バッテリーは、主電源をONにするとモバイルパワーパックから自動的に充電されます。自然放電によって起動できない場合にのみ、外部電源を接続して起動用バッテリーを充電してください。

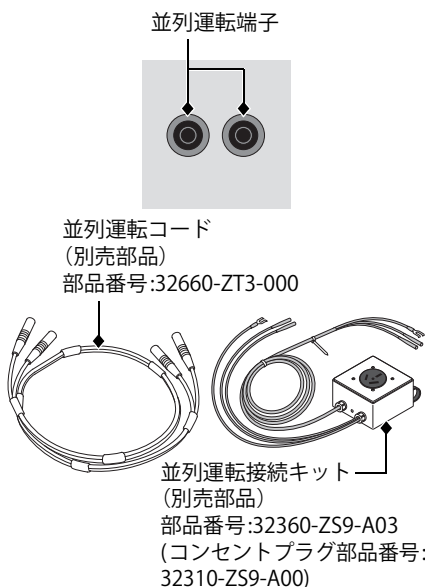
■ 起動用バッテリー残量灯

起動用バッテリーの充電中に点滅し、充電が完了すると点灯します。
→ 起動用バッテリーを充電する（P. 33）



■ 並列運転端子

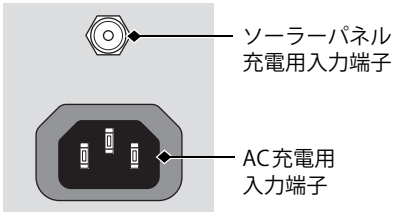
並列運転やアシスト運転をするときに専用コードを差込む端子です。
専用コードは並列運転コード、または並列運転接続キットを必ず使用してください。



■AC 充電用入力端子

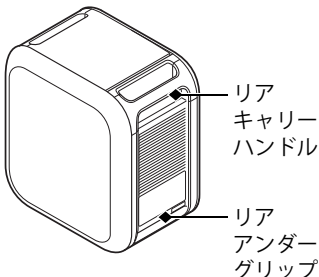
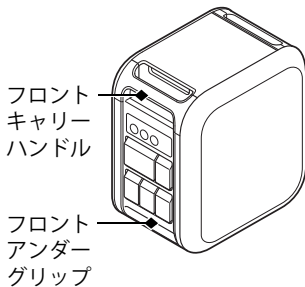
■ ソーラーパネル充電用入力端子

付属のAC充電コードおよび、ソーラーパネルの充電コードを接続する入力端子です。



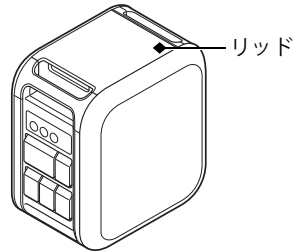
■ キャリーハンドル/アンダーグリップ

本製品の持ち運びは、キャリーハンドルを両手で持って行きます。またキャリーハンドルを手で持ち、もう一方の手をアンダーグリップに添えて本製品を持ち運ぶこともできます。



■ リッド

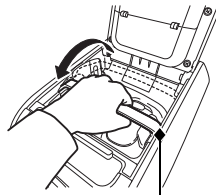
モバイルパワーパックの着脱、AC充電コードの収納/取出しなどをするとときに開けます。



■ ロックレバー

モバイルパワーパックを着脱するときに操作します。

ロック



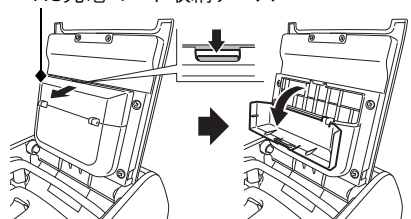
ロック解除



■AC 充電コード収納ケース

AC充電コードを収納/取出しするときに使用します。

AC充電コード収納ケース



■Bluetooth® 機能

本製品は Bluetooth® を搭載しており、アプリを利用してスマートフォン等の端末と接続できます。

Bluetooth® 機能対応のスマートフォンと本製品の接続距離は、見通しがよく障害物のない場合に最大となります。接続距離は、使用するスマートフォンの種類や周囲の環境、構造、電子干渉の影響も受けます。

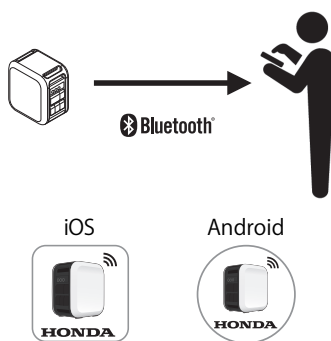
そのため、電子レンジ等の強力な電磁波が発生する場所では、通信障害により Bluetooth® 機能が使用できないことがあります。

スマートフォンアプリ

「Honda My Power Pod」アプリは、Bluetooth® を搭載した本製品でのみ使用できます。アプリでは、様々な便利な機能を利用できます。

以下の機能は一例になります。

- ・ リモートストップ：
電源およびAC/USB出力を停止できます。
- ・ 遠隔モニタリング：
モバイルパワーパック残量などを表示します。
- ・ 通知の受信：
エラーの通知を受けとれます。
- ・ 操作表示パネル調光：
操作表示パネルの明るさ調整が出来ます。



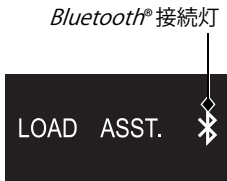
アプリのダウンロード

App Store (iOS) または Google Play (Android) にアクセスし、「Honda My Power Pod」を検索してアプリをダウンロードします。

ペアリング (最初の接続のみ)

スマートフォンと本製品をペアリングするには、「Honda My Power Pod」アプリを参照してください。

- ・ 主電源ボタンを押してから 30 秒以内にペアリング操作を行ってください。



Bluetooth® 機能接続の状況により、以下のように表示されます。

- 消灯：未接続
- 点灯：接続中

モバイルパワーパックの着脱のしかた

モバイルパワーパックを着脱する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう』（P. 4～5）をよくお読みください。

⚠ 警告

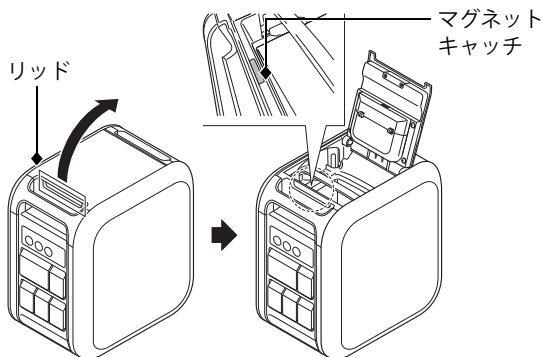
- モバイルパワーパック着脱時は濡れた手で作業しないでください。感電のおそれがあります。
- 濡れたモバイルパワーパックを本製品に取付けしないでください。感電、発煙発火のおそれがあります。
- 感電やケガのおそれがあるため、モバイルパワーパックとの接続端子部には触れないでください。

⚠ 注意

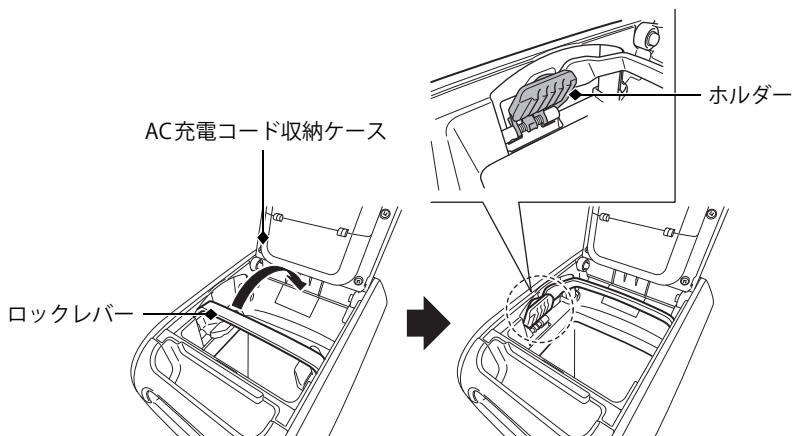
- 消費電力が大きな電気機器を長時間使用した直後は、モバイルパワーパック表面が熱くなっていることがあります。その場合は、時間をおいてから取外してください。
- 落下させる等、勢いよくモバイルパワーパックをバッテリーケースにセットしないでください。ケースが破損するおそれがあります。ケースの破損時は、そのまま使用せず販売元にご相談ください。モバイルパワーパックの破損時の対応はモバイルパワーパックの取扱説明書に従ってください。
- バッテリーケースの底部にゴミや異物が付着、堆積した状態で使用しないでください。除去方法は『お手入れと保管のしかた』（P. 52～53）を参照してください。
- モバイルパワーパックの底面に異物が付着した状態で使用しないでください。お手入れの方法はモバイルパワーパックの取扱説明書に従ってください。
- モバイルパワーパック接続部の破損につながるおそれがあるため、バッテリーケース内にはモバイルパワーパック以外入れないでください。
- 異物等が本製品の内部に入った場合は、ご自身で分解せずに販売元にご相談ください。
- AC 充電コード収納ケースカバーを開けた状態でリッドを閉めないでください。AC 充電コードが挟まりリッドが開かなくなるおそれがあります。

取付け

1. 前面の中央部凹みに指をかけ、リッドを持ち上げて開ける。
 - ・マグネットキャッチのため、開ける際は少し強めに持ち上げてください。

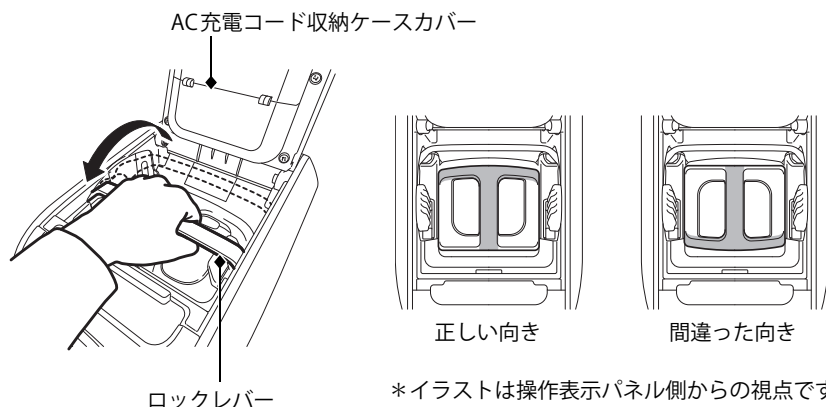


2. ロックレバーを背面側に倒すと、ホルダーのロックが解除される。
 - ・ロックレバーを操作する際はゆっくり操作してください。



モバイルパワーパックの着脱のしかた

3. モバイルパワーパックをバッテリーケースに挿入し、ロックレバーが「カチッ」と音がするまで操作表示パネル側に起こす。
 - ・モバイルパワーパックを逆向きにセットすると、ロックレバーを正しく操作できません。無理に操作すると破損します。ロックレバーが上手く動かないときはモバイルパワーパックの向きを確認してください。



4. AC充電コード収納ケースカバーが確実に閉じられていることを確認してリッドを閉じる
 - ・リッドが浮いている場合や、マグネットに異物が付着していると出力機能をONにできません。

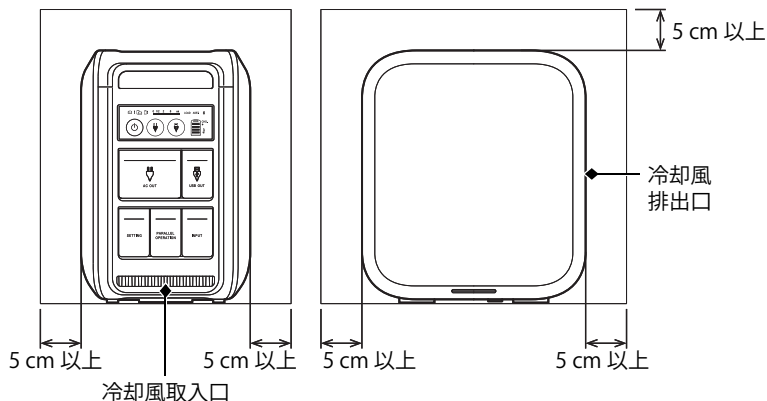
取外し

1. リッドを開ける（前ページ参照）。
2. ロックレバーを解除する（前ページ参照）。
3. バッテリーケースから、モバイルパワーパックを取外す。
4. ロックレバーをロックする（ページ内参照）。
 - ・ロックレバーをロックしないとリッドを閉じることができません。
5. リッドを閉じる。

お使いいただく際は

⚠ 注意

- 本製品は水平で安定した場所で使用してください。転倒、落下によりケガをするおそれがあります。



本製品は、使用中に内部温度が上昇した場合、冷却ファンを作動させ空気を循環して内部を冷却します。

そのため、上面、側面、前面と背面は上図のように5 cm以上周囲をあけて、密閉された場所でなく、風通しの良い場所で使用してください。

特に、冷却風取入口と排出口をふさがないように注意してください。

冷却風取入口／排出口

本製品の前面に冷却風取入口、背面に冷却風排出口があります。

取扱いのポイント

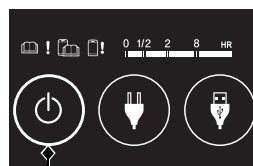
- 本製品の内部冷却が上手くできないと、温度保護装置により自動的に停止します。その場合は本製品を風通しの良い場所に移し、本製品の温度を下げてから再起動してください。
- モバイルパワーパックを取付けた状態で、本製品の「主電源ボタン」を ON にすると動作確認のために冷却ファンが約5秒間作動します。

モバイルパワーパック残量の確認のしかた

モバイルパワーパック残量

1. 「主電源ボタン」を押す。

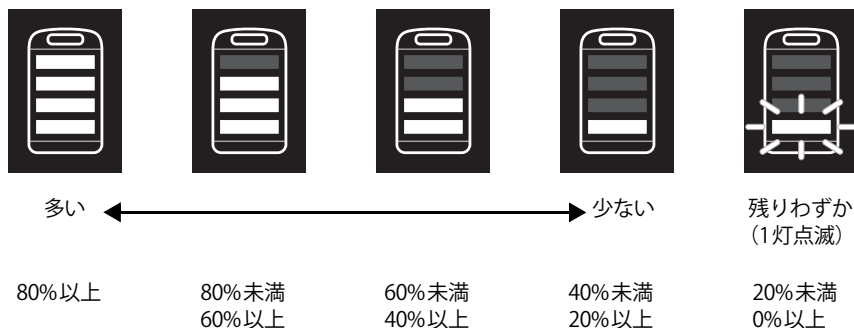
- 全ての表示灯が約 2 秒間、点灯します。
- 「モバイルパワーパック残量灯」が点滅または点灯します。
- 「残給電時間灯」が点滅または点灯します。



主電源ボタン

2. モバイルパワーパック残量を確認する。

- 残量に合わせ、モバイルパワーパック残量灯が光ります。



モバイルパワーパック残量灯の表示は目安となります。
お使いのモバイルパワーパックの劣化や使用温度によって変化します。

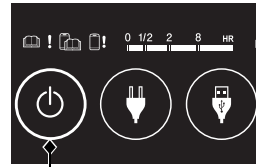
取扱いのポイント

- モバイルパワーパック残量灯が1つだけ点滅している場合は、予期せぬ出力停止にそなえて、出力を停止し、モバイルパワーパックを充電してください。→ モバイルパワーパックを充電する (P. 25 ~ 32)

残給電時間

1. 「主電源ボタン」を押す。

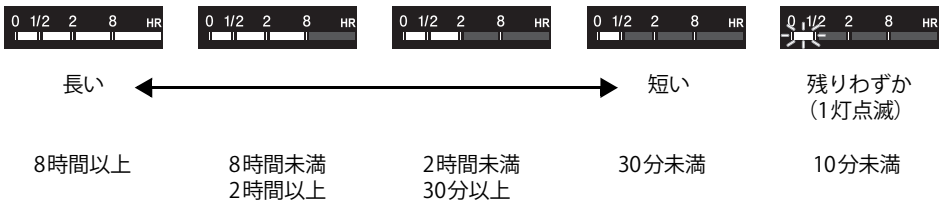
- 全ての表示灯が約 2 秒間、点灯します。
- 「残給電時間灯」が点滅または点灯します。
- 「モバイルパワーパック残量灯」が点滅または点灯します。



主電源ボタン

2. 残給電時間を確認する。

- AC出力またはUSB出力を使用していない場合でも、モバイルパワーパックの残量と本製品の消費電力から計算された残給電時間灯が点灯します。



残給電時間の表示は目安となります。

お使いのモバイルパワーパックの劣化や使用温度によって変化します。

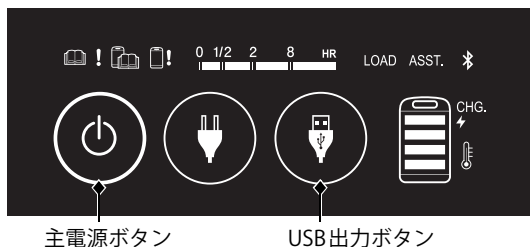
取扱いのポイント

- 残給電時間灯が 1 つだけ点滅している場合は、予期せぬ出力停止にそなえて、出力を停止し、モバイルパワーパックを充電してください。
→ モバイルパワーパックを充電する (P. 25 ~ 32)

操作表示パネル調光のしかた

本製品には操作表示パネルの明るさを調節できる機能があります。
また、Bluetooth® 接続でスマートフォンにて操作表示パネル調光が出来ます。
● Bluetooth® 接続時は本製品側で操作表示パネル調光は出来ません。

1. 「主電源ボタン」を押す。

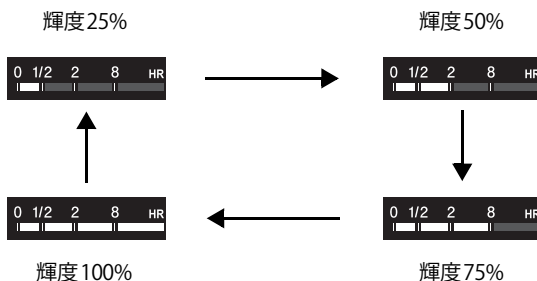


2. 「USB 出力ボタン」を5 秒以上長押しする。

- 全ての表示灯が点灯します。

3. 「残給電時間灯」が画面の輝度レベルを表示する。

- 5 秒ごとに自動で4 段階に輝度に変化します。



4. 任意の輝度レベルが表示されている際に、再度「USB 出力ボタン」を押して明るさを決定する。

モバイルパワーパックの充電のしかた

■ 充電をする前に

充電をする前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P.4～5）をよくお読みください。

モバイルパワーパックの劣化について

満充電にしても給電時間が著しく短くなったと感じた際は、モバイルパワーパックの劣化が故障の可能性があります。販売元にご相談ください。

取扱いのポイント

- 本製品の充電は、周囲温度が0℃～40℃の範囲内で行ってください。
 - 周囲温度が 0℃～40℃の範囲外で充電をした場合、「モバイルパワーパック温度警告灯」が点滅することがあります。「モバイルパワーパック温度警告灯」が点滅した場合は、適正な温度環境下に 3 時間ほど置き、「モバイルパワーパック温度警告灯」が消えたことを確認してから充電をしてください。
- 消費電力の大きな電気機器を長時間使用した直後の充電では、「モバイルパワーパック温度警告灯」が点灯し充電できないことがあります。「モバイルパワーパック温度警告灯」が点灯した状態で充電した場合、主要諸元に記載してある充電時間よりも充電時間が長くなります。
- 本製品でモバイルパワーパックをAC充電する際は、付属のAC充電コード以外は使用しないでください。
- 充電時、AC 充電コード接続先の電源容量が不足していると、充電時間が延びたり、「充電灯」が消灯することがあります。その際は電源容量を確認してください。

推奨電源容量

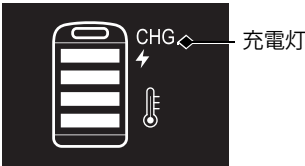
100V, 6A 以上

モバイルパワーパック充電時の電気の取り出しについて

状態	AC出力	USB出力
AC充電時	不可	可能
ソーラーパネル充電時	可能	可能
AC/ソーラーパネル同時充電時	不可	可能

〈充電状態の確認方法〉

操作表示パネルには「充電灯」が装備されています。



充電灯表示	状態
点灯	充電中
点滅	ソーラーパネル充電一時停止状態
消灯	- 充電完了 - AC 充電コード未接続 - ソーラーパネル充電コード未接続 - ソーラーパネル停止状態

AC 充電状態について

「モバイルパワーパック残量灯（1つ）」点滅状態から充電を開始し、充電完了までの目安時間は約4時間（周囲温度25℃）です。

ソーラーパネル充電状態について

「モバイルパワーパック残量灯（1つ）」点滅状態から100 Wで充電した場合、充電完了までの目安時間は約17時間です。

■ モバイルパワーパックを充電する

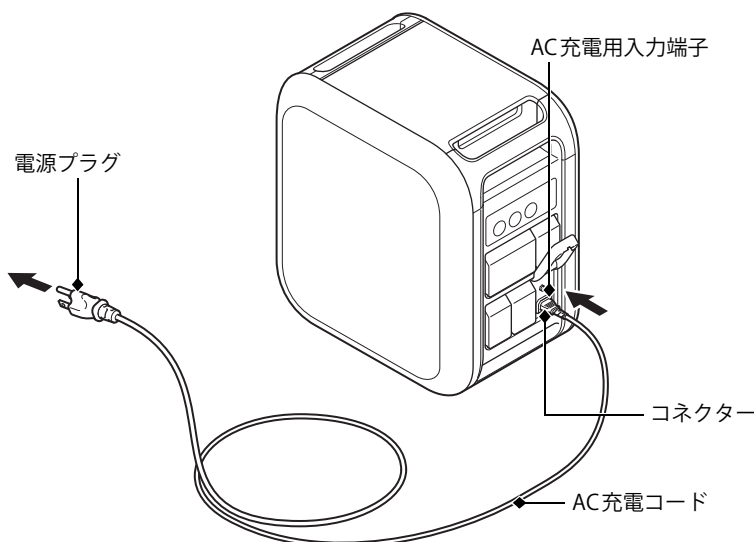
〈AC 充電する（家庭用 100 V コンセント）〉

充電をする前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P. 4～5）、『充電をする前に』（P. 25）をよくお読みください。

⚠ 警告

- 電源プラグ、コード、本体、コネクターなどに損傷や変形がある場合は使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になるおそれがあります。
- 発熱、破損および感電のおそれがありますので、電源プラグは根元まで差し込み、抜くときはコードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。

1. モバイルパワーパックを本製品に取付ける。
2. 周波数切換スイッチを地域の周波数に合わせる。
3. AC 充電コードのコネクターをAC 充電用入力端子に接続する。
4. AC 充電コードの電源プラグを家庭用 100 V コンセントに接続する。
 - ・ 2 ピンコンセントに接続する場合は同梱の 2 ピン変換プラグを使用してください。



モバイルパワーパックの充電のしかた

5. モバイルパワーパックの充電が開始されると「充電灯」が点灯する。
 - ・ 充電が完了すると充電灯が消灯し、1 分後に主電源灯が消灯します。
6. 充電の完了後は、AC 充電コードを本製品およびコンセントから外す。
7. AC 充電コード収納ケースに AC 充電コードを収納する。

取扱いのポイント

- リッドが開いた状態では充電できません。モバイルパワーパックを取付け後は、必ずリッドが閉まっているか確認してください。
- AC 充電は主電源が ON / OFF いずれの状態でも充電可能です。

〈ソーラーパネルで充電する〉

充電をする前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』(P.4～5)、『充電をする前に』(P.25)をよくお読みください。

⚠ 警告

- ソーラーパネルを使用する際は、必ず事前にソーラーパネルの取扱説明書を確認してください。
- 濡れた手で本製品や接続するコード、ソーラーパネルにふれないでください。感電、ショート、発火の原因になるおそれがあります。
- 本体端子部に金属類を差し込まないでください。発熱や発火の原因になるおそれがあります。
- ソーラーパネルは本製品に接続していない時も発電している場合があります。充電コードのプラグの取扱いには注意してください。
- 天候が荒れるなど雷の兆候があるときは、ソーラーパネルで充電をしないでください。感電の原因になるおそれがあります。
- ソーラーパネルで充電する際は、本製品の端子部とソーラーパネル充電コードに異物の噛みこみ等の異常がないことを確認してから接続してください。ソーラーパネル充電用入力端子の温度上昇によりソーラーパネル充電が停止した場合は、必ず本製品の主電源を OFF にし、端子部の温度が十分に下がってから異物の噛みこみ等がないか確認してください。本製品端子部の温度上昇によって、ヤケドのおそれがあります。
- 充電コードの抜き差しは確実に行ってください。差し込みが不十分な場合、発熱や発火、感電のおそれがあります。

ソーラーパネルは本製品に付属しておりません。ソーラーパネルを使用する際は下記URLを参照し、推奨のソーラーパネルを購入してください。

<https://www.honda.co.jp/battery/e1500/>

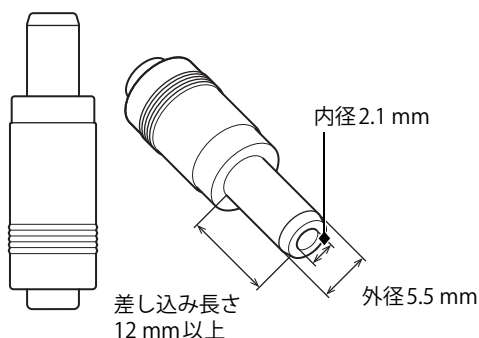
取扱いのポイント

- ソーラーパネル充電入力範囲以上の電圧、電流が入力された場合、温度警告 / 本機異常灯が点灯します。
- 本製品のソーラーパネル充電用入力端子部に異物の噛みこみ等の異常があり、端子部周辺の温度が規定値以上に上昇した場合は自動的に充電が停止されます。温度上昇によって充電が停止した場合は、本製品の主電源を OFF にし、端子部の温度が十分に下がってから異物の噛みこみ等がないか確認してください。
- 天候やお使いのソーラーパネルの性能等によりソーラーパネルの発電量は変化します。発電量によってはソーラーパネル充電が行えない場合があります。
- 強風等でソーラーパネルが転倒した場合、ソーラーパネル充電が停止することがあります。
- ソーラーパネル充電はソーラーパネルに付属の充電コードおよびDCプラグ変換アダプターを使用してください。

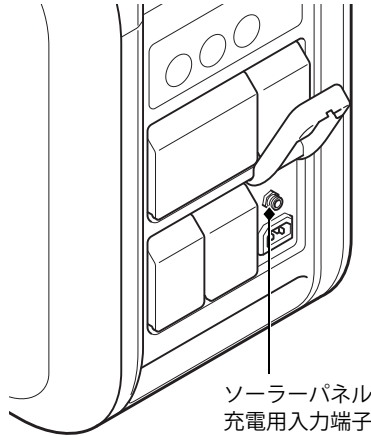
DCプラグ変換アダプター

ソーラーパネルの充電コードが下記プラグになるように、適切なDCプラグ変換アダプターを使用してください。

DC5521 プラグ：(外径5.5mm、内径2.1mm、差し込み長さ12mm以上)



1. モバイルパワーパックを本製品に取付ける。
2. ソーラーパネルの取扱説明書の手順にしたがってソーラーパネルを設置し、ソーラーパネルのプラグがDC5521 プラグになっていることを確認する。
3. ソーラーパネル充電コードを本製品のソーラーパネル充電用入力端子に接続する。
4. モバイルパワーパックとの接続が完了すると充電を開始し、「充電灯」が点灯する。
 - 充電が完了すると充電灯が消灯します。
5. 充電の完了後は、ソーラーパネル充電コードを本製品から取外す。



取扱いのポイント

- リッドが開いた状態では充電できません。モバイルパワーパックを取付け後は、必ずリッドが閉まっていることを確認してください。
- 主電源ボタンを ON の状態から、充電操作をしても充電可能です。
- AC 出力、USB 出力を使いながらのソーラーパネル充電も可能です。
- AC 充電とソーラーパネル充電の同時充電も可能です。
- 天候やソーラーパネルの発電状態によって充電が安定するまで時間がかかる場合があります。

モバイルパワーパックの充電のしかた

ソーラーパネル充電停止状態について

夜間等の太陽が出ていない状況では、ソーラーパネルからの入力電圧が非常に低いためソーラーパネル充電が自動的に停止します。

入力電圧が規定値以上になるとソーラーパネル充電が再開されます。

ソーラーパネル充電停止状態か充電完了状態かを判断する場合は、AC 充電コードを接続してください。

充電灯が点灯する場合はソーラーパネル充電停止状態です。

ソーラーパネル充電一時停止状態について

ソーラーパネルの発電状態を検知し、充電中にソーラーパネル充電が一時的に停止した場合に充電灯の点滅でお知らせします。

充電停止要因が改善されると自動でソーラーパネル充電を再開し、充電灯は点灯に戻ります。

充電灯表示 ()内はソーラーパネルと AC の同時充電時	充電停止要因
10秒毎に点灯と消灯を繰り返す (点灯で点滅せず)	ソーラーパネルからの入力電力不足
「2回点滅後に2秒消灯」を10秒間繰り返す (「2回点滅後に約2秒点灯」を10秒間繰り返す)	ソーラーパネルからソーラーパネル充電プラグ までの回路異常
「2回点滅後に2秒消灯」を繰り返す (「2回点滅後に約2秒点灯」を繰り返す)	ソーラーパネル充電用入力端子の温度上昇

ソーラーパネル充電一時停止状態が続く場合は以下を確認ください。

- ・ 太陽が十分に出ていること
- ・ ソーラーパネルが熱くなっていないこと
- ・ ソーラーパネルが太陽の方向を向いていること
- ・ ソーラーパネル全面に日光が当たっていること
- ・ ソーラーパネルや充電コードが破損していないこと
- ・ ソーラーパネル充電用入力端子に異物の噛みこみ等の異常がないこと

起動用バッテリーの充電のしかた

充電をする前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P.4～5）をよくお読みください。

本製品にはモバイルパワーパックを起動させるための起動用バッテリーが搭載されています。

起動用バッテリーは、主電源をONにするとモバイルパワーパックから自動的に充電されます。

本製品の起動が出来ない場合は、起動用バッテリー充電ポートから起動用バッテリーの充電を行ってください。

⚠ 警告

- 濡れた手で本製品や接続するコードにふれないでください。感電、ショート、発火の原因になるおそれがあります。
- 本体端子部に金属類を差し込まないでください。
発熱や発火の原因になるおそれがあります。
- コードの抜き差しは確実に行ってください。差し込みが不十分な場合、発熱や発火、感電のおそれがあります。
- 充電用アダプター、充電コードを使用する際は、必ずそれぞれの取扱説明書を確認してください。

起動用バッテリーの充電のしかた

充電用アダプター、充電コードは同梱されておりませんので、以下に適合する市販品を用意してください。

下記仕様以外の充電用アダプター、充電コードは使用しないでください。

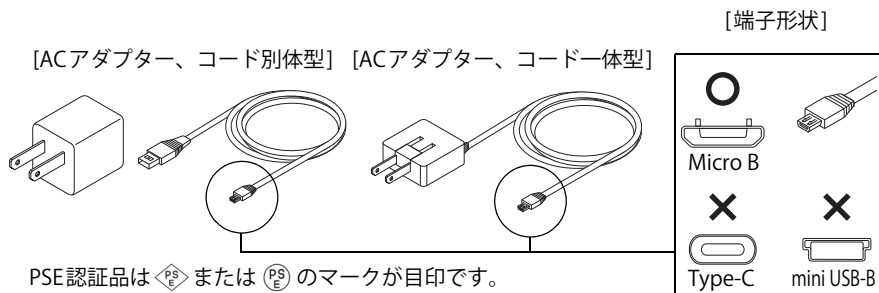
最大電流：1.5 A（ACアダプター出力）

充電定格：5 V（ACアダプター出力）

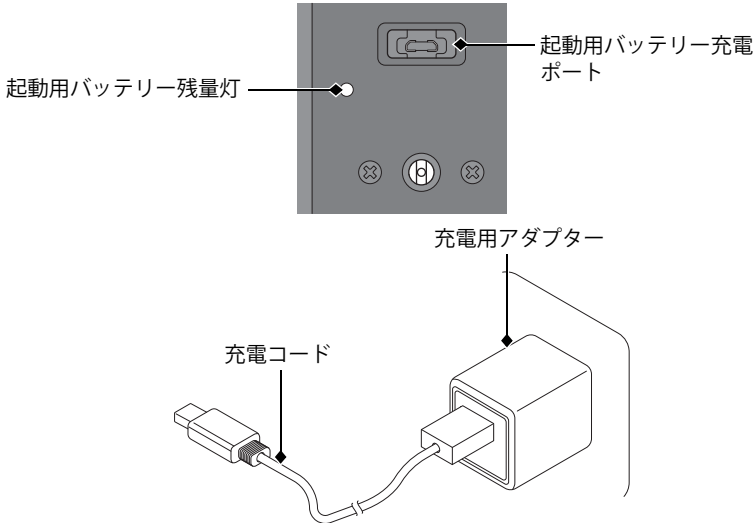
端子形状：USB micro B

USB規格：USB BC1.2

ACアダプター：PSE認証品



1. 主電源がOFFになっていることを確認する。
2. 家庭用100Vコンセントへ充電用アダプターを接続する。
3. 充電用アダプターと起動用バッテリー充電ポートを充電コードで接続する。



4. 充電の状態により、起動用バッテリー残量灯が下記の表示をする。
 - ・ 充電が開始されると、起動用バッテリー残量灯が点滅します。
 - ・ 満充電になると、起動用バッテリー残量灯が点灯します。

充電中は点滅

充電完了（満充電状態）は点灯



5. 充電が完了したら充電用アダプターと充電コードを取外す。

取扱いのポイント

- 起動用バッテリーの充電は、本製品の主電源がOFFになっているのを確認してから行ってください。
- 本製品の電源をONにする前に、充電用アダプター、充電コードを取外してください。
- 充電コードや起動用バッテリー充電ポートなどに、水等が付着したまま充電しないでください。故障の原因となります。
- 充電の際は起動用バッテリー充電ポート内部に塵埃などが入りやすい場所で使用しないでください。

電気の取出しかた

■ 電気を取出す前に

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P. 4～5）をよくお読みください。

取扱いのポイント

- 電気を取出すときは、周囲温度が $-15^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲内で使用してください。
- 周囲温度が $-15^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲外で使用した場合、「温度警告/本機異常灯」が点灯し、電気が取出せなくなることがあります。
- 周囲温度が $-15^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲内で使用した場合でも、消費電力の大きい電気機器を接続し出力を続けると、本製品の内部温度が上昇し、保護装置によりモバイルパワーパックの容量を使い切る前に「モバイルパワーパック温度警告灯」が点灯し、電気が取出せなくなることがあります。
- リチウムイオン電池の特性上、低温下では、運転時間が短くなったり出力が低下する場合があります。
- 使用する際は、周囲に隙間（5cm 以上）を開けてください。本製品内部の温度が上がり、温度保護装置により使用できない場合があります。
→ お使いいただく際は（P. 21）
- 使用する電気機器の消費電力を確認いただき、本製品の出力範囲内で電気機器を使用してください。本製品の出力範囲を超えて使用した場合、保護装置が働き、電気が取出せなくなります。
→ 交流コンセントの出力範囲（P. 61）
- 本製品に接続して使用する電気機器の取扱いは、その機器の説明書に従ってください。

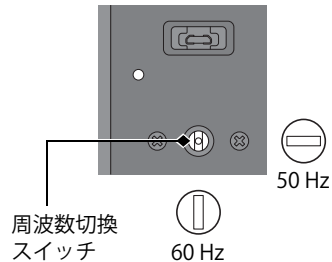
■ 交流コンセントを使う

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう』(P.4～5)、『電気を取り出す前に』(P.36)をよくお読みください。

取扱いのポイント

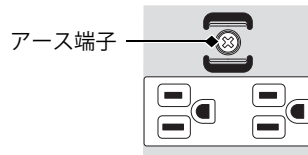
- 本製品から取り出せる電力は、最大 2000 W (VA) までです。
2000 W (VA) を連続してご使用できる時間は約 5 分(周囲温度 30℃)です。最大出力で使用し続けると、「温度警告 / 本機異常灯」が点灯し過熱保護回路により出力が停止します。
また、2000 W (VA) を超える電気機器を接続すると、出力保護回路により「過負荷灯」が点灯し出力が停止します。
- 交流コンセント(2口)から連続的に取り出せる電流の合計は定格 15 A です。接続する電気機器の電力の合計は定格で 1500 W (VA) を超えないように使用してください。
- モーターなどの大きな起電力を必要とする電気機器を使用すると、開始時に「過負荷灯」が点灯(最大で約 5 秒間)する場合がありますが、一時的であれば故障ではありません。電気機器が起動した後は、「過負荷灯」は消灯します。

1. 周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。

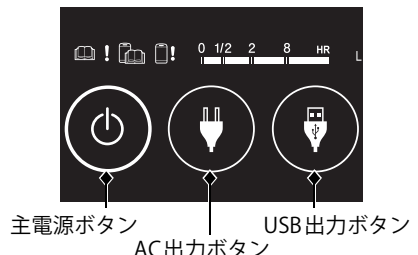


2. 本製品に接続する電気機器を大地にアースした場合は、本製品のアース端子も必ずアースする。

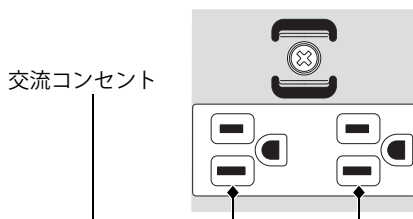
◇アースの取扱いについて
アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。
アースに関するご不明点は、販売元にご相談ください。



3. 「主電源ボタン」を押す。
・「主電源灯」が点灯します。
4. 「AC 出力ボタン」を押す。
・「AC 出力灯」が点灯し、交流出力が可能な状態になります。

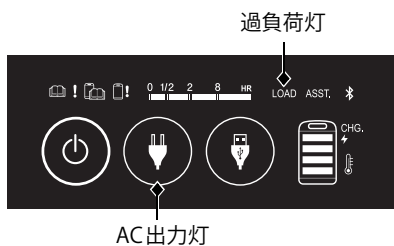


5. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、交流コンセントへ電気機器のプラグを確実に差し込む。



6. 電気機器のスイッチをONにする。

- 過負荷運転や、使用電気機器が異常を起こした場合、以下の表示をし、電気が取
出せなくなります。
 - ・「過負荷灯」：点灯→3分後に消灯
 - ・「AC 出力灯」：消灯



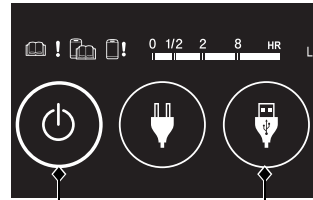
■USB 出力端子を使う

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう』（P.4～5）、『電気を取り出す前に』（P.36）をよくお読みください。

取扱いのポイント

- 1 つの端子から取れる電流は 1.5 A までです。（合計 3 A）
1 つの端子に 1.5 A を超える電気機器を接続すると、出力電圧が下がり接続した機器が停止する場合があります。

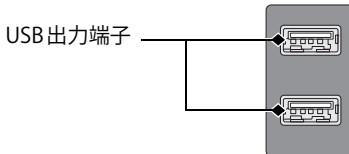
1. 「主電源ボタン」を押す。
・「主電源灯」が点灯します。
2. 「USB 出力ボタン」を押す。
・「USB 出力灯」が点灯し、USB 出力が可能な状態になります。



主電源ボタン

USB出力ボタン

3. 使用する電気機器のUSB プラグを USB 出力端子に差込む。



取扱いのポイント

- USB 出力端子はタイプ A のみ対応しています。

■ 並列運転する

並列運転とは、接続した2台が同じ割合で電気を出力し、連続して消費電力の大きな電気機器を使用する運転方法のことです。

接続対象機種

E1500、E500、EU9iGB、EU18i、EU26iJ

- 並列運転コード（別売部品）または並列運転接続キット（別売部品）を使用することで最大2台まで並列運転が行えます。
- 並列運転時に15 A（1500 W）を超える負荷と接続する場合は、必ず並列運転接続キットを利用してください。
- 並列運転をしても USB 出力は変わりません。
- 連続して大きな消費電力の電気機器を使用しない場合は、「アシスト運転」を利用してください。
→ アシスト運転する（P. 45）

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P. 4～5）、『電気を取り出す前に』（P. 36）をよくお読みください。

⚠ 警告

- 並列運転端子には並列運転コードまたは並列運転接続キット以外は絶対に接続しないでください。
- 他社製品とは絶対に接続しないでください。
- 発電機等と接続する場合は、接続する製品の取扱説明書を必ず確認してください。
- 並列運転を行っているとき、並列運転コードまたは並列運転接続キットを外さないでください。並列運転コードまたは並列運転接続キットは、主電源を ON にする前に接続し、主電源 OFF 後に外してください。
- 単体運転をするときは、並列運転コードまたは並列運転接続キットを必ず外してください。
- 並列運転コードまたは並列運転接続キットを接続したまま、片方を止めて電気を取り出さないでください。

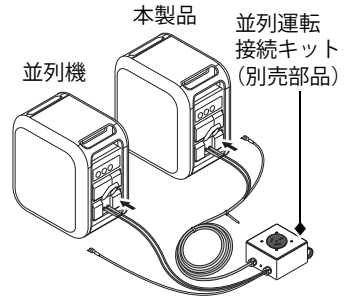
火災あるいは人身事故または本製品や他の発電機、使用電気機器が故障する原因となります。

取扱いのポイント

- 並列運転をしたときに取出せる電気は以下のとおりです（E1500 同士で並列運転の場合）。
1 台のコンセントからは 1500 W(VA)
並列運転接続キットのコンセントからは 3000 W(VA)
- 使用電気機器によっては過負荷となり「過負荷灯」が点灯し電気取出せなくなります。
- モーター類は一般的に消費電力の2～3倍の電力を起動のために必要とします。

〈並列運転接続キットを使用する〉

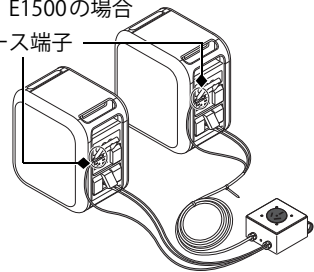
1. 並列運転接続キット（別売部品）を、それぞれの本体の並列運転端子に接続する。
例）E1500の場合



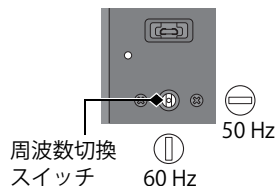
2. 本製品および並列機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、それぞれの本体（2台共に）も必ずアースする。

◇アースの取扱いについて
アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。
アースに関するご不明点は、販売元にご相談ください。

例）E1500の場合
アース端子



3. 本製品と並列機の周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。
・ 周波数が異なると「過負荷灯」が点灯し、電気を取出すことができません。
例）E1500の場合



電気の取出手かた

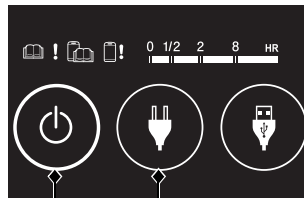
4. それぞれの「主電源ボタン」をONにする。

例) E1500の場合

- ・発電機との並列の場合は、発電機のエンジンスイッチを「運転」位置にします。

5. 本製品の「AC出力ボタン」をONにして、AC出力がされるまで待ち（E1500で約2秒）並列機のAC出力をONにする。

- ・発電機との並列の場合は、発電機を始動させます。始動のしかたは接続する発電機の取扱説明書に従ってください。

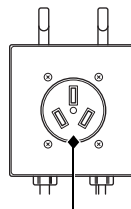


主電源ボタン

AC出力ボタン

6. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、本製品、並列機または並列運転接続キット（別売部品）のコンセントに電気機器のプラグを差込む。

◇並列運転接続キットのコンセントプラグ側の配線作業には専門の知識が必要です。配線作業は専門の電気業者にご相談ください。



並列運転接続キット（別売部品）のコンセント

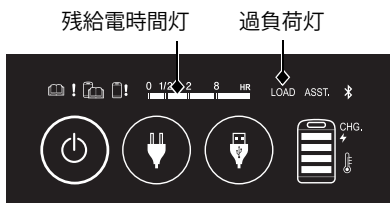
警告

- 接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認してください。電気機器のスイッチが入っていると、電気機器が意図せず起動し、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

7. 電気機器のスイッチをONにする。

- 過負荷運転や、使用電気機器が異常を起こした場合、以下の表示をし、電気が取れなくなります。

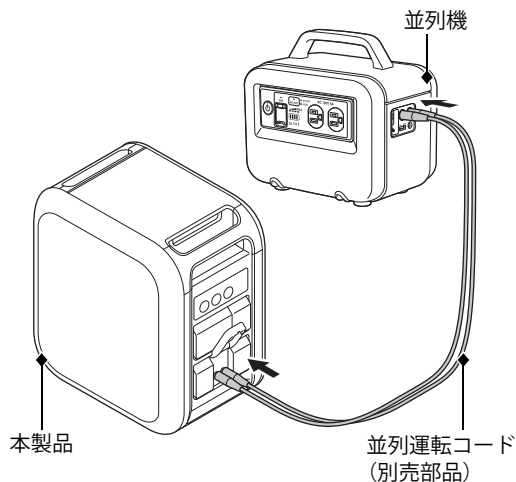
- ・「過負荷灯」：点灯
- ・「残給電時間灯」：消灯



〈並列運転コードを使用する〉

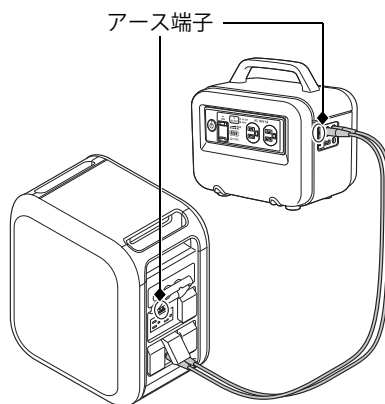
1. 並列運転コード（別売部品）をそれぞれの本体の並列運転端子に接続する。

例）E500の場合



2. 本製品および並列機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、それぞれの本体（2台共に）も必ずアースする。

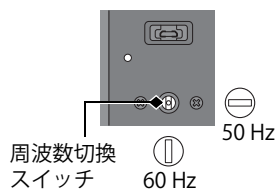
◇アースの取扱いについて
アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。
アースに関するご不明点は、販売元にご相談ください。



3. 本製品と並列機の周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。

例）E1500の場合

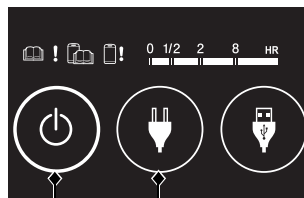
- ・周波数が異なると「過負荷灯」が点灯し、電気を取出すことができません。



電気の取出しかた

4. それぞれの「主電源ボタン」をONにする。 例) E1500の場合

- ・発電機との並列の場合は、発電機のエンジンスイッチを「運転」位置にします。



主電源ボタン
AC出力ボタン

5. 本製品の「AC出力ボタン」をONにして、AC出力がされるまで待ち（E1500で約2秒）並列機のAC出力をONにする。

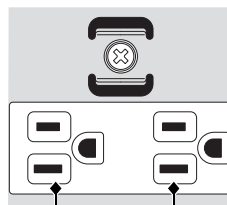
- ・発電機との並列の場合は、発電機を始動させます。始動のしかたは接続する発電機の取扱説明書に従ってください。

6. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、交流コンセントに電気機器のプラグを差込む。

警告

- 接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認してください。電気機器のスイッチが入っていると、電気機器が意図せず起動し、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

例) E1500の場合

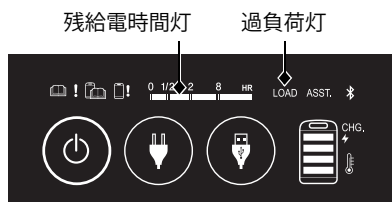


交流コンセント

7. 電気機器のスイッチをONにする。

- 過負荷運転や、使用電気機器が異常を起こした場合、以下の表示をし、電気が取れなくなります。

- ・「過負荷灯」：点灯
- ・「残給電時間灯」：消灯



■ アシスト運転する

アシスト運転とは、アシスト対象機種が定格出力を超えた場合に、本製品が約5秒間電力を供給（アシスト）する運転方法のことです。
連続して消費電力の大きな電気機器は使用しないが、モーターなど一時的にでも消費電力が大きくなり、定格出力を超える可能性がある場合に、利用してください。

アシスト対象機種

E1500、E500、EU9iGB、EU18i、EU26iJ

- 並列運転コード（別売部品）または並列運転接続キット（別売部品）を使用することでアシスト運転が行えます。
- アシスト運転時に 15 A（1500 W）を超える負荷と接続する場合は、必ず並列運転接続キットを利用してください。

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう』（P. 4～5）、『電気を取り出す前に』（P. 36）をよくお読みください。

⚠ 警告

- 並列運転端子には並列運転コードまたは並列運転接続キット以外は絶対に接続しないでください。
- 他社製品とは絶対に接続しないでください。
- 発電機等と接続する場合は、接続する製品の取扱説明書を必ず確認してください。
- アシスト運転を行っているとき、並列運転コードまたは並列運転接続キットを外さないでください。並列運転コードまたは並列運転接続キットは、主電源を ON にする前に接続し、主電源 OFF 後に外してください。
- 単体運転をするときは、並列運転コードまたは並列運転接続キットを必ず外してください。

火災あるいは人身事故または本製品や他の発電機、使用電気機器が故障する原因となります。

取扱いのポイント

- アシスト運転をしたときに取出せる電気は以下のとおりです（E1500 のアシスト運転の場合）。
2000 W（VA）
- 使用電気機器によっては過負荷となり「過負荷灯」が点灯し電気が取出せなくなります。
- モーター類は一般的に消費電力の 2～3 倍の電力を起動のために必要とします。
- 以下の場合、並列運転を使用してください。接続した電気機器が動作しない場合があります。
 - ・ アシスト対象機種の定格を超える負荷を連続して使用する。
 - ・ 複数の電気機器を同時に使用する。

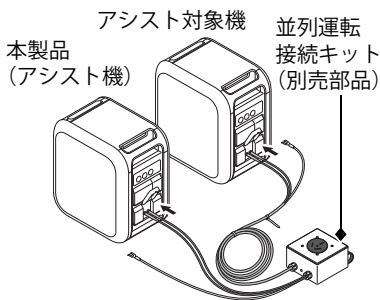
1. 並列運転コード（別売部品）または並列運転接続キット（別売部品）を、それぞれの本体の並列運転端子に接続する。

- 並列運転接続キットのケーブルの長さに違いがあるときは、短い側に本製品（アシスト機）、長い側にアシスト対象機を接続してください。

アシスト対象機：定格出力を超えた消費電力の電気機器を使用した際に、本製品（アシスト機）から電力供給を受ける機種。

本製品（アシスト機）：アシスト対象機が過負荷になった際に、足りない電力を約5秒間供給する。

例) E1500をアシストする場合



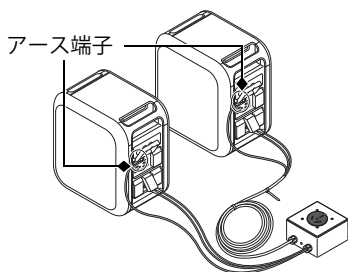
2. 本製品およびアシスト対象機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、それぞれの本体（2台共に）も必ずアースする。

◇アースの取扱いについて

アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。

アースに関するご不明点は、販売元にご相談ください。

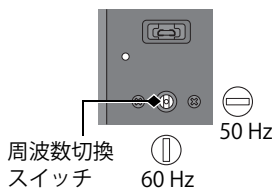
例) E1500をアシストする場合



3. 本製品とアシスト対象機の周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。

- 周波数が異なると「過負荷灯」が点灯し、電気を取出すことができません。

例) E1500の場合

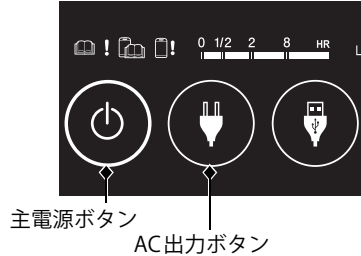


4. アシスト対象機の「主電源ボタン」をONにする。

- 発電機を始動する場合は、発電機の取扱説明書に従ってください。

5. 本製品の「主電源ボタン」をONにし、「AC出力ボタン」を2秒以上長押しする。
 - ・アシスト運転が起動すると「AC 出力灯」が点滅します。

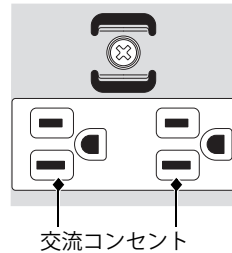
例) E1500の場合



6. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、アシスト対象機または並列運転接続キット（別売部品）のコンセントに電気機器のプラグを差し込む。

◇並列運転接続キットのコンセントプラグ側の配線作業には専門の知識が必要です。配線作業は専門の電気業者に相談ください。

例) E1500の場合



警告

- 接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認してください。電気機器のスイッチが入っていると、電気機器が意図せず起動し、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

7. 電気機器のスイッチをONにする。

- アシスト対象機の出力が定格を超える負荷となった場合に、本製品が電気を供給します。電気を供給時に「アシスト運転灯」が点灯します。



停止のしかた

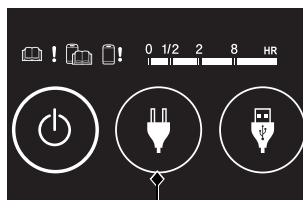
⚠ 警告

- 電気機器側のスイッチを切ってから本製品の主電源、AC 出力または USB 出力を OFF にしてください。次回使用時に電気機器側のスイッチが意図せず起動し、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

並列運転/アシスト運転を使用した場合は、下記の出力停止の手順の後に、本製品と接続しているE1500や発電機等を停止し、並列運転コードもしくは並列運転接続キットを外してください。

■AC 出力のみ

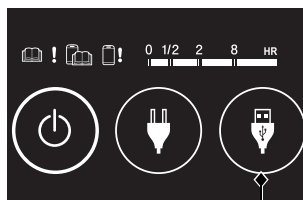
1. 使用している電気機器を停止する。
2. 「AC出力ボタン」を押す。
 - ・「AC出力灯」が消え、AC出力機能が停止します。
3. 電気機器の電源プラグを交流コンセントから抜く。



AC出力ボタン

■USB 出力のみ

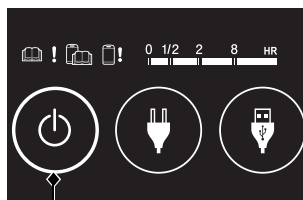
1. 使用している電気機器を停止する。
2. 「USB出力ボタン」を押す。
 - ・「USB出力灯」が消え、USB出力機能が停止します。
3. 電気機器のUSBプラグをUSB出力端子から抜く。



USB出力ボタン

■AC 出力と USB 出力

1. 使用しているそれぞれの電気機器を停止する。
2. 「主電源ボタン」を押す。
 - ・「AC出力灯」と「USB出力灯」が消え、両方の出力機能が停止します。
3. 電気機器の電源プラグ、USBプラグを本製品から抜く。



主電源ボタン

■Bluetooth® 機能対応スマートフォンによる電源の停止

Bluetooth® 機能対応スマートフォンにインストールしたアプリを使用することで、主電源およびAC/USB出力を停止できます。

スマートフォンでアプリを起動して、Bluetooth® 機能接続の操作を行ってください。

運搬のしかた

モバイルパワーパックの運搬方法については、モバイルパワーパックの取扱説明書を確認してください。

- コード、プラグなどを挿したまま運搬しないでください。

■ 手で持ち運ぶ

本製品の持ち運びは、キャリーハンドルを両手で持って行います。

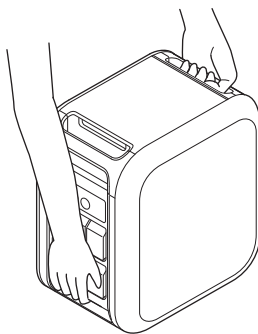
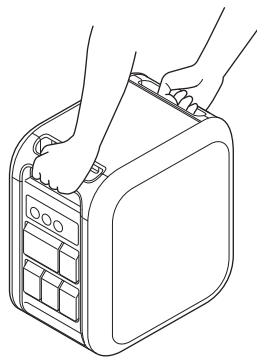
またキャリーハンドルを手で持ち、もう一方の手をアンダーグリップに添えて本製品を持ち運ぶこともできます。

⚠ 警告

- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。また、変形破損した場合は使用しないでください。火災やヤケド、感電やケガの原因になります。

⚠ 注意

- ロックレバーをハンドル代わりに持って、本製品を持ち上げないでください。ロックレバーが変形・破損するとモバイルパワーパックの交換・取外しができなくなります。



■ 車で運ぶ

平坦な場所に本製品が動かないように固定して積載してください。
縦置きする場合は、倒れないようにロープ等でしっかり固定してください。

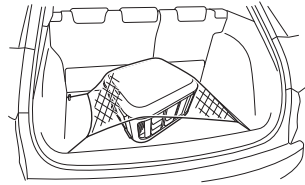
⚠ 注意

- 高温になった車内など、高温の場所で使用、保管しないでください。起動用バッテリーが早期劣化するおそれがあります。また、発熱や発火の原因になります。

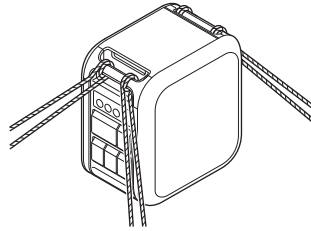
取扱いのポイント

- 本製品の上に荷物などを置かないでください。本製品が破損するおそれがあります。

積載の一例



横倒しの場合



縦置きの場合

■ 船舶や航空機で運ぶ

リチウムイオン電池を内蔵している本製品を船舶や航空機で運ぶ際には、法律や規則に従った対応が必要です。詳しくは輸送業者に確認してください。

お手入れと保管のしかた

■ お手入れのしかた

お手入れする前に、本製品からモバイルパワーパックを取外してください。モバイルパワーパックケースに堆積した異物（砂やほこり）は掃除機による除去を推奨します。

本製品の汚れは、水で薄めた中性洗剤や軽く水を含ませた布で落とし、乾いた布でふき取ってください。

USB出力端子、交流コンセント、充電用入力端子、並列運転端子など電気接続部には、水や洗剤がかからないようにしてください。

⚠ 注意

- 水洗いは行わないでください。電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。
モバイルパワーパックのお手入れのしかたは、モバイルパワーパックの取扱説明書を必ず確認してください。
- バッテリーケースに堆積した異物（砂やほこり）の除去にコンプレッサーやエアダストスプレー等の圧縮空気を使用しないでください。バッテリーケースの隙間から本製品内部に異物が侵入するおそれがあります。
- 本製品に液体等をこぼしてしまった場合でも、ご自身で分解、清掃は行わず、販売元へご相談ください。

取扱いのポイント

- アルコール、シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
印刷が消えたり、色あせするおそれがあります。

■ 保管のしかた

長期間使用しない場合は、モバイルパワーパックを外してから、湿気の少ないところで保管してください。

モバイルパワーパックの保管のしかたは、モバイルパワーパックの取扱説明書を必ず確認してください。

モバイルパワーパックのほかに、モバイルパワーパックを起動するための起動用バッテリーが本製品に搭載されています。長期保管後、主電源がONしない場合は起動用バッテリーの残量の低下が考えられます。起動用バッテリーの充電は『起動用バッテリーの充電のしかた』（P. 33）を参照してください。

⚠ 注意

- 湿気やほこりの多いところや、高温となるところには保管しないでください。絶縁性能が低下し、発熱・発火の原因となります。また、高温下での保管は起動用バッテリーの劣化を早める原因となる場合があります。

取扱いのポイント

- 起動用バッテリーは使用しなくても残量が低下します。残量が少ないまま保管した場合、起動用バッテリーが使用できなくなる場合があります。
起動用バッテリーを充電してから保管してください。
- 直射日光、40℃以上の高温、多湿、温度変化が激しい場所では起動用バッテリーの劣化を早める原因につながるおそれがあります。
- お買い上げ後、初めてご使用されるときは起動用バッテリーを充電してから使用してください。

故障かな？と思ったら

下記「処置方法」で解決しない場合は、分解しないで、はやめに販売元へご相談ください。

表示	状態	原因	処置方法
	・主電源灯が点灯しない	モバイルパワーパック 残量低下	モバイルパワーパックを充電 した後、主電源を ON にして ください。 → モバイルパワーパックの充 電のしかた (P. 25)
		起動用バッテリー残量 低下	起動用バッテリーを充電した 後、主電源を ON にしてくだ さい。 → 起動用バッテリーの充電の しかた (P. 33)
	・USB 出力灯が点灯し ない ・USB 出力端子が使用 できない	モバイルパワーパック 残量低下	モバイルパワーパックを充電 した後、主電源を ON にし、 USB 出力ボタンを押してくだ さい。 → モバイルパワーパックの充 電のしかた (P. 25)
		USB 出力ボタンが押さ れていない	主電源を ON 後、USB 出力ボ タンを押してください。 → USB 出力端子を使う (P. 39)
		リッドが開いている	リッドを完全に閉じてくださ い。
	・AC 出力灯が点灯しな い ・交流コンセントが使 用できない	モバイルパワーパック 残量低下	モバイルパワーパックを充電 した後、主電源を ON にし、 AC 出力ボタンを押してくださ い。 → モバイルパワーパックの充 電のしかた (P. 25)
		AC 出力ボタンが押され ていない	主電源を ON 後、AC 出力ボタ ンを押してください。 → 交流コンセントを使う (P. 37)
		リッドが開いている	リッドを完全に閉じてくださ い。
		アシスト運転で起動し ている	アシスト運転灯が点灯してい る場合は、アシスト運転で起 動しています。AC 出力ボタン を押してアシスト運転状態を 解除し、再度押してください。
		保護機能が作動してい る	過負荷灯が点灯している場合 は、接続されている電気機器 を取外し、主電源ボタンを押 して再起動してください。 → 交流コンセントを使う (P. 37)

表示	状態	原因	処置方法
	充電できない	リッドが開いている	リッドを完全に閉じてください。
	充電できない（家庭用 100 V コンセントからの充電のみ）	交流コンセントを使用している	AC 出力中は家庭用 100 V コンセントからの充電ができません。AC 出力ボタンを OFF にしてください。 → AC 充電する（家庭用 100 V コンセント）（P. 27）
	「充電灯」が点灯しない／消える	充電電源の電圧不足	充電電源の電圧を確認してください。電圧が低い場合、充電が停止します。 →充電をする前に（P. 25）
		コードなどの接続不良	電源プラグ、充電コネクタ、ソーラーパネル充電コード端子が正しく接続されていることを確認してください。 充電コネクタや充電用入力端子に、水や異物が付着している場合は除去してください。
	「充電灯」が点滅している	ソーラーパネル充電一時停止	ソーラーパネル充電が何らかの要因によって一時停止しています。 →ソーラーパネル充電一時停止について（P. 32）
	「モバイルパワーパック温度警告灯」が点滅している 「モバイルパワーパック温度警告灯」が点灯している - 交流コンセント／USB 出力端子が使用できない - 充電できない	モバイルパワーパックの温度が適正外	主電源を OFF にし、本製品を常温に戻した（常温に戻るまでの時間は、条件によって変化します）後、主電源を ON にします。モバイルパワーパック温度警告灯が消灯していることを確認してから使用してください。 - 設置環境を確認してください。 →お使いいただく際は（P. 21） - 使用環境を確認してください。 →充電をする前に（P. 25） →電気を取出す前に（P. 36）

故障かな？と思ったら

表示	状態	原因	処置方法
	「過負荷灯」が点灯している - 交流コンセントが使用できない - 交流コンセントを使用中に出力が停止する	- AC 過負荷 - 周波数設定が合っていない - 接続機器の異常	主電源を OFF にします。接続している電気機器のプラグを外した後、主電源を ON にしてください。 →交流コンセントを使う (P. 37)
	「温度警告 / 本機異常灯」が点灯している	- 高温異常 - 過負荷 - 周波数設定が合っていない - 充電電圧異常 - 内部装置故障	主電源を OFF にし、以下の対応を行った後、主電源を ON にしてください。 - 本製品を常温に戻してください（常温に戻るまでの時間は、条件によって変化します）。 - 接続している電気機器のプラグを外してください。 - 周波数設定を確認してください。 → AC 充電する（家庭用 100 V コンセント） (P. 27) - 充電電圧を確認してください。 →充電をする前に (P. 25) 解決しない場合は、内部装置の交換が必要です。販売元へご相談ください。
	「本機故障灯」が点灯している	内部装置故障	内部装置の交換が必要です。販売元へご相談ください。
	「モバイルパワーパック異常灯」が点灯している	モバイルパワーパックの残量低下	主電源 OFF 後にモバイルパワーパックを充電した後、主電源を ON にしてください。
		内部装置故障	モバイルパワーパックの交換が必要です。販売元へご相談ください。
	「モバイルパワーパック故障灯」が点灯している	内部装置故障	モバイルパワーパックの交換が必要です。販売元へご相談ください。

廃棄のしかた

⚠ 警告

- 本製品を家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。ゴミ収集車内や集積場での発煙・発火の原因になります。
- 本製品を廃棄する際は、モバイルパワーパックと起動用バッテリーを取外してから廃棄してください。

モバイルパワーパックと起動用バッテリーはリチウムイオンバッテリーです。廃棄処分については特別な取り扱いが必要です。

リチウムイオンバッテリーの引取り方法を下記URLにてご案内しております。ご不明な点がございましたら、販売元またはお客様相談センターにご相談ください。

<https://www.hondappsv.com/recycle/>



⚠ 警告

起動用バッテリーを本製品から取り外すときは次の指示に従ってください。守らないと火災や感電、ケガのおそれがあります。

- 起動用バッテリー本体、周辺や手等が濡れた状態で作業しないでください。
- 起動用バッテリー本体および端子部を分解、改造しないでください。
- 誤って端子部に接触しないよう、本製品から取り外した起動用バッテリーにはコネクター接続部に絶縁性のあるテープを貼り付けてください。
- 本製品から取り外した起動用バッテリーに強い衝撃を与えないでください。
- 本製品から取り外した起動用バッテリーを子供の手の届く所に置かないでください。
- 本製品から取り外した起動用バッテリーを他の製品に使用しないでください。
- 起動用バッテリーを取外す際には、必ずモバイルパワーパックを取外してください。

■ 起動用バッテリーをリサイクルする際の作業内容

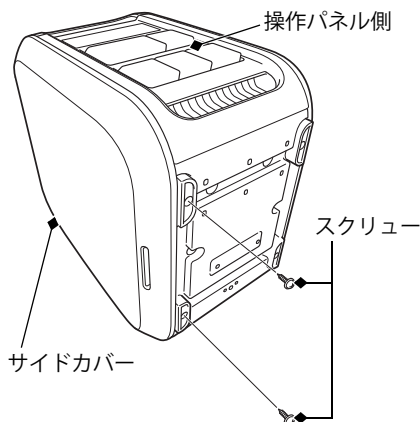
下記作業は本製品を廃棄する際に起動用バッテリーをリサイクルするための作業です。

そのため、作業により発生した破損・故障については保証の対象外となります。

起動用バッテリー故障時の交換・修理の際は販売元にご相談ください。

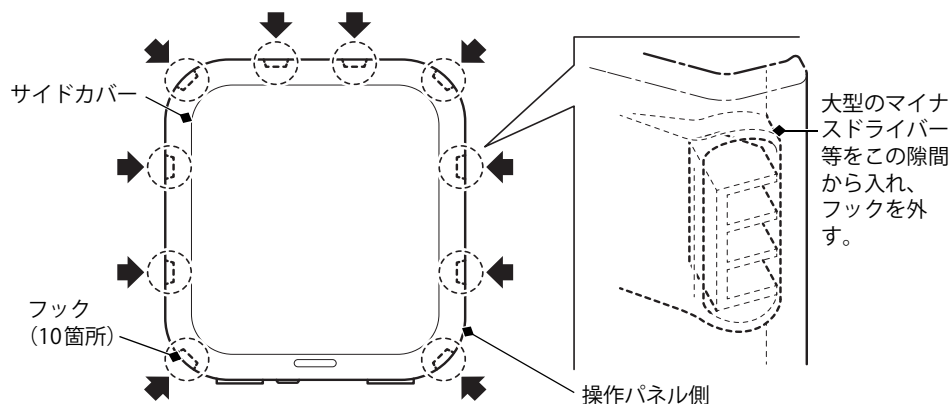
1. モバイルパワーパックを外す。

2. 本製品の底面左側のスクリュー (2本) を取外す。

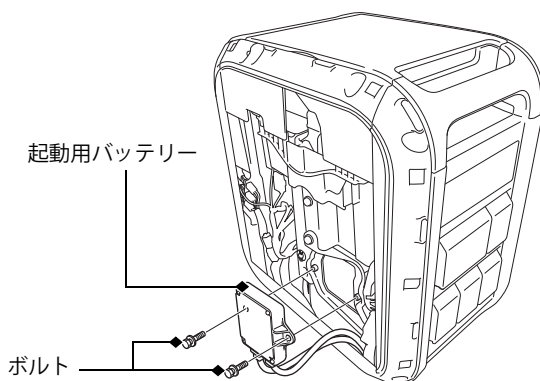


3. サイドカバーのフックを大型のマイナスドライバー等で外し、サイドカバーを取外す。

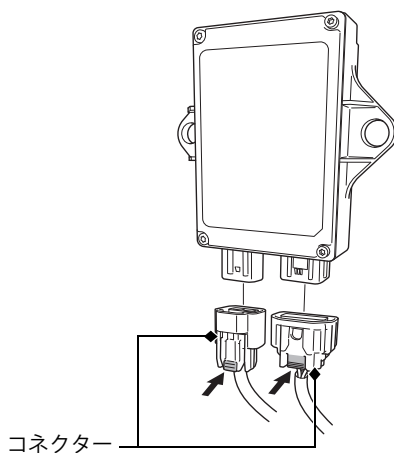
・ サイドカバーは 10 箇所のフックで保持されています。



4. ボルトを外し、ステーから起動用バッテリーを取外す。



5. 起動用バッテリーからコネクターを取外す。



起動用バッテリー側のコネクター接続部に絶縁性のあるテープを貼り付けて、ご案内した手順（P. 57）に従いリサイクルを実施してください。

主要諸元

名 称	Honda Power Pod e: (E1500)		
タイプ	イ	プ	JN
型式		式	EBMJ
寸 法			
全 長		長	385 mm
全 幅		幅	269 mm
全 高		高	430 mm
重 量	13.4 kg		
定 格 周 波 数	50 Hz / 60 Hz		
電 圧 調 整 方 式	PWM 方式		
交流コンセント			
最 大 出 力※	2000 W (VA)		
定 格 出 力	1500 W (VA)		
定 格 電 圧	100 V		
定 格 電 流	15 A		
U S B 出 力 端 子			
定 格 出 力	15 W		
定 格 電 圧	5 V		
定 格 電 流	3 A (1.5 A×2)		
A C 充 電 入 力	AC 100 V - 6 A, 50-60 Hz		
ソ ー ラ ー パ ネ ル 充 電 入 力	14～26 V - 5.5 A		
入 力 端 子	DC5521 PLUG		
出 力 端 子			
交 流 コ ン セ ン ト	アース式コンセント		
U S B	タイプA		
充 電 時 間 ※2	約4時間		

※ 周囲温度 30℃の場合、最大出力で約 5 分間連続運転可能です。

※2 定格出力1500 W(VA)で専用バッテリーを使い切った状態から満充電するまでの周囲温度 25℃での時間です。モバイルパワーパックの残量や周囲温度によって変化します。

- この諸元は予告無く変更することがあります。
- 定格出力時の運転時間は、モバイルパワーパックの特性上、周囲温度や劣化状態によって変化します。
- バッテリー製品は特性上、使用温度環境やバッテリーの劣化具合により性能は変化します。

交流コンセントの出力範囲と使用時間の目安

■ 交流コンセントの出力範囲

- 交流コンセント（AC100V）と USB 出力端子（DC5V）は同時に使用いただけます。
- モーターなどの大きな起動電力を必要とする製品は、本製品の出力可能な範囲内であっても、電気を取り出せない場合があります。
詳しくは販売元にご相談ください。

単体運転	交流コンセント使用数	出力
E1500	1口	定格 1500 W(VA) 最大 2000 W(VA)
	2口	2口のコンセントを使用時も、出力範囲は上記と同じになります。

本製品の詳しいコンセントの出力範囲については『交流コンセントを使う』（P. 37）を参照してください。

並列運転	交流コンセント使用数	出力（定格）
E1500  E1500	並列運転接続キット (60 A) のコンセントを使用	最大 3000 W(VA)
	並列運転接続キット (60 A) のコンセントと複数のコンセントを使用	合計で最大 3000 W(VA)
E1500  E500	並列運転接続キット (60 A) のコンセントを使用	最大 2000 W(VA)
	並列運転接続キット (60 A) のコンセントと複数のコンセントを使用	合計で最大 2000 W(VA)
E1500  EU9iGB	並列運転接続キット (60 A) のコンセントを使用	最大 2400 W(VA)
	並列運転接続キット (60 A) のコンセントと複数のコンセントを使用	合計で最大 2400 W(VA)

交流コンセントの出力範囲と使用時間の目安

並列運転			交流コンセント使用数	出力（定格）
E1500		EU18i	並列運転接続キット (60 A) のコンセントを使用	最大 3300 W(VA)
			並列運転接続キット (60 A) のコンセントと複数のコンセントを使用	合計で最大 3300 W(VA)
E1500		EU26iJ	並列運転接続キット (60 A) のコンセントを使用	最大 4100 W(VA)
			並列運転接続キット (60 A) のコンセントと複数のコンセントを使用	合計で最大 4100 W(VA)

- 並列機の詳しいコンセント出力範囲については、並列運転する製品の取扱説明書を確認してください。

■ 使用時間の目安

- 周囲温度やモバイルパワーパック使用回数の増加、劣化により電気機器の使用時間は変動します。
- 消費電力、使用可能時間／回数は参考値です。
- 接続する電気機器の消費電力は、電気機器の取扱説明書やカタログなどで確認してください。

電気機器	消費電力 (参考値)	使用可能時間／回数／台数 (参考値)
アウトドア／レジャー		
・ 卓上 LED 照明 (AC)	4.5 W	約20時間
・ DC 扇風機	平均 7.5 W	約 16～21 時間
・ 電気毛布	85 W	約 7.6 時間
・ 電気ポット	900 W	1 リットル × 約 8 回
・ ドライヤー	1200 W	約 0.72 時間
・ 電子レンジ	850 W	6 分間 約 11 回

情報機器

・ 液晶テレビ	69 W	約 8.5 時間
・ ノートパソコン	45 W	約 19 時間
・ スマートフォン (USB)	5 W	約 112 台

防災機器

・ ラジオ	12 W	約 17.5 時間
・ 石油ファンヒーター	最大 390 W	約 8～15 時間
・ ガスファンヒーター	12～30W	約 13～17 時間

業務用機器

・ 卓上ウォーマー	1000 W	約 1 時間
・ 遠赤外ホットショーケース	最大 470 W	約 2 時間
・ 10 合炊き炊飯器	最大 930 W	10 合炊き 2 回

- 表中の数値はモバイルパワーパック 1 台の数値です。消費電力の大きな電気機器や、お使いになる場所の周囲温度が高い場合は、使用可能時間／回数／台数が少なくなります。
- 使用する電気機器の AC 負荷（消費電力）が小さいと、本製品の出力状態を維持するために約 50 W を消費します。
スマートフォンの充電などの低負荷使用時は USB 出力をご使用いただくか、他の AC 負荷と併用してください。

使用する負荷によっては本製品とのマッチング上、不具合が発生することがあります。販売元にご相談ください。

■ 商標



Bluetooth® マークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、本田技研工業株式会社が使用許諾を受けて使用しています。

本製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
まず、販売元にお気軽にご相談ください。

販売元

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120－112010^{イイフレイオ}

受付時間 9：00～12：00 13：00～17：00
〒351-0188 埼玉県和光市本町8－1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

本製品に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- (1) 製品名
- (2) シリアルナンバー _____
(書込み欄)
- (3) ご購入年月日
- (4) 販売元名

HONDA

E1500
30ZAP602
00X30-ZAP-6020



© 2024 本田技研工業株式会社
Printed in Japan